



西村証券

チーフストラテジスト
門司総一郎の

ウィークリーレポート

2020年
9月24日
発行

第55回

「米大統領選」

～役割を終えたトランプ政権～

初めに

米国の大統領選が近付いてきました。当初民主党候補のバイデン元副大統領がリードしていましたがトランプ大統領が追い上げて激戦と言われています。ただ自分は前から申し上げているとおりトランプ氏の再選はないと見ています。今回はトランプ政権の役割と言う観点から大統領選についてお話しさせていただきます。

前回の大統領選挙

前回の大統領選挙では政治家に対する不信感が大きなテーマだったと思います。当時米国では既に格差や差別と言った構造問題がありましたが多くの政治家は対策を見い出せず国民の間では既存の政治家に対する不信感が広まっていたと思います。特に初の黒人大統領として期待されたオバマ大統領が構造問題に有効な手を打てなかった事は国民を落胆させたと思います。

共和党予備選

トランプ氏が大統領選への出馬を決断したのはこの様に米国民が政治不信に陥っているところに勝機を見出したためだと思います。この時の共和党予備選にはトランプ氏以外にもIT企業の経営者や小児神経外科医など本職の政治家とは言えない候補者が参加していましたが彼らもトランプ氏同様にチャンスがあると感じたのかもしれませんが。

ご存知の様にトランプ氏は本選でヒラリー・クリントン元国務長官を破り大統領に就任しました。本選では民主党の支持者の中からもトランプ氏に票が流れておりトランプ氏への期待が窺われます。この追い風がトランプ氏を大統領に押し上げました。

トランプ政権は壮大な実験

この様に考えるとトランプ政権の4年間は既存の政治家が良いのか或いはトランプ氏の様な政治経験のない大統領が良いのかを試す壮大な実験だったと思います。しかし格差や差別と言った構造問題は解決されず分断も深まるばかりの様に思えます。従って実験は失敗ということになると思います。

次期大統領はバイデン氏

前回大統領選ではトランプ氏に風が吹きましたが今回そうした風は期待できないでしょう。また前回は民主党が分裂してトランプ氏に投票しましたが今回はそういった事はなさそうです。この様に考えてトランプ氏の再選はなく新大統領はバイデン氏と予想しています。その場合バイデン氏は最低賃金の引き上げや雇用の確保などを公約としていることからバイデン氏の元で構造問題も改善の方向に動き出すと期待しています。

西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮ください。